



JARA NEWS

JAPAN AUTOMOBILE RECYCLE NETWORK NEWS

Vol.83 JANUARY 2015 <http://www.jara.co.jp>

Published by JARA Corporation
Tokyo Head Office: Shinwa Bldg. 1-2-2-7F
Nihonbashi, Chuo-ku, Tokyo, JAPAN 103-0027
Phone: +81 3 3548 3010 / Fax: +81 3 3231 4690

New Year message from JARA Corporation President Sosho Kitajima



2015年1月号 年頭所感

新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い致します。

さて、昨年は4月に(株)エコライン社と合併し、更に10月には入庫車両事業業務推進の為、今まで子会社であった(株)スーパーライン東北を吸収合併するという1年間に2度の大きな変化を行った1年でした。

今回の合併は、ここ数年の自動車の高度化に伴う自動車リサイクルビジネスの変化、更にはシステム運営管理という面で、会員企業様への更なるサポート対応を行う形が出来つつあると自負しております。

またそれに伴い、車両入庫ビジネスを始め、関係各所から今までにない様々な情報や事業企画などどんどん入ってきている状態であり、本年は更にそれらの内容を具現化していく1年であると考えています。

更にハード面として東京本社、名古屋支社を始め、仙台支社と各拠点に会議室を新設し、地域ごとの会議、研修ができる環境が整いました。

昨年後半からは、2つあるシステムについての操作方法講習会を始め、いろいろな研修、講習会が開催できるようになりましたので、是非地域毎の会議、研修にもご利用頂ければ幸いです。

昨年半年間の活動では、まだ会員の皆様にご満足いただける対応が全て整ってはおりませんが、本年は随時新しい対応を発表していく所存です。

最後になりますが、皆様のご健勝をご祈念申し上げますと共に、本年もどうぞよろしくお願い致します。

CO2削減数値(SPLシステム)

リユースパーツ使用による

CO2削減効果参考値

平成26年11月

2,724t

※一般、中・大型含む車を修理する際、新品部品を使用して修理する場合に出るCO2排出量とリサイクル部品を使用して修理する場合のCO2排出量の差がCO2削減数値になります。

一般社団法人日本自動車リサイクル部品協議会と早稲田大学環境総合研究センターがLCA(ライフ・サイクル・アセスメント)の考え方に基づき共同開発した「グリーンポイントシステム」より参照。

過渡期リサイクル部品業界 鍵は認知向上

自動車リサイクル部品を巡る展開は、新たな動きを見せ始めている。各グループや団体は部品の運送費高騰や自動車保険料率の改定、そして将来的な人口減少による市場縮小と様々な要因に対応するため、業界外との連携やグローバル戦略の推進などを急いでいる。個社単位でも積極的な施策を打つ事業者が目立つ。ハイブリッド車(HV)や電気自動車(EV)などの次世代自動車への対応を迫られ、内憂外患の状況は相変わらずだ。中古車輸出が勢いづいていることもあり、使用済み自動車の台数確保も厳しさを増している。まさに、生き残りをかけた熾烈な競争が広がってきた。

—次のページに続く—





—前ページの続き

海外への進出で新たな市場を開拓

JARA（北島宗尚社長）は「第8回自動車リサイクラーズ国際会議（IRT）2014」を釧路で開催した。欧米だけでなく、アジア勢とも意見交換し、日本がリサイクル先進国として世界を引っ張っていく必要性を改めて示した。また、米国最大のリサイクル部品流通システム会社「カーパーツドットコム」と事業提携し、将来的には日米での部品の相互流通を視野に入れる。今後はグローバルな視点を持った展開が同社の強みとなっていくと見られる。

今年、経済産業省と環境省の自動車リサイクル法見直しなどを論議する合同会議も行われている。10年目を迎えるにあたって、「当時と状況も変わってきた」面もあり、法律の「評価・検討」を両省は進める。

次世代自動車ではHVが普及し、EVでも輸入車が日本市場に参入する。11月にはトヨタ自動車が燃料電池車（FCV）を発表、また新たなテーマが加わり、次世代車とひとくくりには出来ない状況になりつつある。業界はまさに過渡期であり、「二極化時代になる」と見る向きもある。目まぐるしく動く展開は、今後も続いていきそうだ。

ニーズは確実に存在するが

まだまだリサイクル部品使用率低い

「自費修理の顧客は最近増えてきている」関東のある整備事業者はリサイクル部品を活用した修理が確実に増えて始めている

と話す。2012年10月から保険料率が改定され、新料率制度が始まった。保険を使用した高額な修理費を避けるため、低価格なリサイクル部品へのニーズはあると見られる。ただ、「品質がどれほどのものかも、よくわからない」と話す整備事業者も少なくない。なかなか上がらない認知度は業界全体の課題として大きく横たわる。新品部品と合わせた全体でのリサイクル部品の使用比率はわずか5%にとどまっており、欧州の40%に比べても、大きな差が開いていることが明らかだ。

認知度向上に向けた取り組みはある。日本自動車リサイクル部品協議会は2年目を迎えた日本損害保険協会、日本自動車整備振興会連合会、日本中古自動車販売協会連合会、日本自動車車体整備協同組合連合会の4団体と共同で構成する「自動車リサイクル部品活用推進会議」で普及活動を展開する。10月にはJR有楽町駅（千代田区）でリサイクル部品を展示するブースを設置すると同時に、環境性などをアピールするチラシを配布した。「一人でも多くの人に知ってもらいたい」（企画担当者）とエンドユーザーに近い、草の根の活動から進める考えだ。

高価値車両の仕入れ難が常態化

一方でリサイクル部品普及に向けて、課題は山積する。使用済み自動車の確保難は日を迫うごとに厳しくなっている。背景にはアベノミクス

による円安がある。これまでは使用済み自動車として確保できた車両がオートオークション（AA）に流出している。中古車の年間輸出台数は約130万台に上り、「危機的状況になりつつある」（リサイクル部品団体代表）。年式の高い車両は軒並みAAに流れており、高価値車両の確保難が常態化しつつある。仕入れ価格が高騰し、収益圧迫要因となっている。

自動車リサイクル促進センター（JARC）が発表した4～9月期の使用済み自動車引取台数は、前年同期比2.1%増の171万1479台。増加はしたが、新車の駆け込み需要による廃車増は想定より伸びず、JARCの予想を下回った。JARCは年度合計約340万台を見込んでいたが、「330万台を割る可能性もある」との見方を強めている。

もう一つ収益圧迫要因として業界の頭を悩ませているのが、部品運送費の高騰だ。新品部品に比べて価格の優位性があることが強みの一つとなっているリサイクル部品にとって、運送費高騰は価格に直接のしかかり、優位性を失いかねない。課題の解決に向けて進むのが「自動車リサイクル部品ロジスティック研究会（ロジ研）」だ。リサイクル部品流通団体だけでなく、システム会社や大手運送会社などが加わっており、業界の枠組みを超えて運送費高騰に対し協議を進めている。

業界統一の梱包資材や「ロジ研」としての梱包マニュアル作成など、ロジ研ならではの展開が始まっており、期待が高まる。ただ、一部大手運送会社は運送時に保険を付けていない部品に対し、運送事故が発生した際、全く補償しないという方針を決定。すでに、導入されている地域もあると見られ、「いったいどうなっているのか」と現場も困惑を隠せない。協議も並行して進んでいるが、運送状況は時を追うごとに厳しくなっている。リサイクル業界では、この課題に対し抜本的解決策を見出せていないため危機感強い。毎日自動車新聞 2014年12月12日

KOBELCO

We Save You Fuel
Achieving a Low-Carbon Society

New ideas come from KOBELCO

Thirty years after putting our first auto-demolition machine on the market, we're leading the field in metals recycling to lower environmental impact

Multi-Dismantling Machines

For dismantling end-of-life vehicles and other appliances, and separating out their complex materials.



SK200



SK135SR

Scrap Loaders

For handling at scrap yard and harbors.
crawler-type: SK260LC, SK350LC, SK480LC



KOBELCO CONSTRUCTION MACHINERY CO., LTD.
<http://www.kobelco-kenki.co.jp>

KOBELCO

神钢 无坚不摧!
您满意的选择

新构想源于神钢

汽车拆解机上市30年,神钢推出减轻环境负担的废金属回收新方案。

多功能拆除机

在报废汽车等复合物拆除和解体领域发挥力量。



SK200



SK135SR

废弃物处理

在中间处理工厂和港口大显身手。
履带式: SK260LC, SK350LC, SK480LC



成都神钢工程机械(集团)有限公司
<http://www.kobelco-cg.com>

KOBELCO

We Save You Fuel
Achieving a Low-Carbon Society

새로운 발상은 KOBELCO에서

자동차 해체기 발매 30년, 환경부하를 한층 억제한 금속 리사이클을 제안.

멀티 해체기

폐자동차 등 복합물의 해체, 분별에 활약



SK200



SK135SR

스크랩 로더

중간처리장이나 항만에서의 핸들링 작업에
크롤러식: SK260LC, SK350LC, SK480LC



(주)삼정건설기계
www.samjung-kenki.co.kr



Go Go Japan Industry (M) Sdn Bhd

Lot 15, Jalan 4/32A,

Mukim Batu Industrial Area, 6½ Mile Off Jalan Kepong

52000 Kuala Lumpur, Malaysia.

Tel : 03-62415258 Fax : 03-62415285



高品質
High Quality
品质高超



低価格
Reasonable Price
价格合理



迅速なデリバリー
Speedy Delivery
交货迅速



優れたサービス
Excellent Service
服务卓越



For Enquiry, Please Contact / 询问洽购, 请联络 : 03-6241 5258

< Parts Supplying Fully Back Up by HIDA TEC Japan >

Tel : 025-539-1515

Email: narc-2001@helen.ocn.ne.jp

Tel : 025-274-1516

Email: narc-2004@ace.ocn.ne.jp



JOUETSU Branch



KAETSU Branch